

## 人権侵害の不処罰を助長する危険性：アルジャジーラに対する放送停止措置

2025/01/13

国連人権高等弁務官事務所

独立専門家たちは本日、パレスチナ自治政府に対し、アルジャジーラ\*に対する放送停止措置を直ちに撤回し、国内外を問わずすべてのジャーナリストがパレスチナ自治区で自由かつ安全に活動できるようにするよう求めた。2025年1月1日、パレスチナ司法長官は、「パレスチナの国内問題の扇動的な内容、偽情報、教唆、干渉があった」と主張し、系列のジャーナリスト、従業員、クルーの業務を含むアルジャジーラの放送と業務を禁止する決定を下した。また、1月5日、ラマラ治安裁判所は、アルジャジーラの複数のウェブサイト（aljazeera.net、aljazeera.net/live、aljazeera360.com、global.ajplus.net）の内容が「国家の安全を脅かし、犯罪を扇動している」という理由で、4か月間の閉鎖を命じた。「2024年12月5日以降、ジェニン難民キャンプと占領下のヨルダン川西岸全域で起きたパレスチナ治安部隊による暴力的な取り締まりについて批判的な報道を行った後に、このような決定がなされたことに深い懸念を抱く。この暴力行為により、若い女性ジャーナリストを含む少なくとも8人のパレスチナ人が死亡した」と専門家は述べた。専門家たちは表現の自由とジャーナリストの取り締まりに関する懸念をイスラエル政府とパレスチナ政府に示した。

\*[アルジャジーラ](#)：中東の衛星テレビ